

小型家電の回収拠点を拡大します

市では、各環境センターや各窓口センターなどで不用となった小型家電の回収を行っています。7月1日(火)から新たにリサイクルステーション(アピタ向山店、イオン豊橋南店)での回収を開始します。また、認定事業者(紅久商店(☎32・8888)への持ち込み(無料)や宅配(リネットジャパン(☎http://www.renet.jp/eco))による回収(有料)も行われています。詳しくは、ホームページ(<http://www.city.toyohashi.lg.jp/13600.htm>)をご覧ください。

対象:カメラなどの幅27cm×奥行30cm×高さ16cm以下の小型の家電製品※各環境センターおよびリサイクルステーション(ふれあいコープあ・ん・ず駐車場内)へは、最大辺が60cm未満の家電製品も可(家電4品目、パソコン、電子レンジ、乾電池は対象外)※個人情報保護は必ず消去してください **問い合わせ:** 環境政策課(☎51・2454)

マリンレジャーシーズン到来 死亡事故「0」を目指して

7月1日(火)～8月31日(日)は海上保安庁夏季安全推進活動期間です。昨年、第四管区海上保安本部の管内では、夏季マリンレジャーシーズン中、16件の死亡事故が発生しました。愛知県太平洋沿岸には、高波や離岸流といった危険があります。死亡事故をなくするため、次の点を心がけてください。

①同行した子どもから目を離さない②飲酒しての遊泳は控える③泳ぎに自信があっても、無理をしない④出掛ける前には、気象・海象の状況を必ず確認する
また、海釣りなどのマリンレジャー時に自分の命を守るため、次の3点を心がけてください。

①ライフジャケットの常時着用②連絡手段(防水処置を施した携帯電話など)の確保③118番(海上における事件・事故などの緊急時連絡先)の有効活用

問い合わせ: 三河海上保安署(☎34・0118)、豊橋市港湾活性課(☎34・3710)、市役所農地整備課(☎51・2491)

情報あれこれ

生涯学習情報紙「グラッド」に掲載する広告

9月に発行予定の生涯学習情報紙「グラッド」の広告(有料)を募集します。詳細はお問い合わせください。

問い合わせ: 生涯学習課(☎51・2850)

ため池での事故をなくそう

ため池は大変危険ですので、子どもだけで水辺に近づかないようにしましょう。また、池の中には絶対に入らないでください。

問い合わせ: 農地整備課(☎51・2495)



ため池での事故に注意



肝炎ウイルス検査を受けましょう

情報ピックアップ

問い合わせ 健康政策課(☎39・9104)

■医療機関で検査を受ける場合

- 40歳の方は4月下旬にお送りした肝炎ウイルス検査検診票(はがき)を持参して受診してください
- 過去に検査を受けていない4歳以上の方、または今年度の特定健康診査などの肝機能検査で異常のあった4歳以上の方は、健康増進課(☎39・9136)にお申し込みください

- 右記以外の方は健康政策課(☎39・9104)にお申し込みください

■保健所・保健センター(中野町字中原「ほいっぴ」内)で検査を受ける場合

とき 毎週水曜日午後1時30分～3時(受付時間) **申し込み** 不要
「共通事項」その他 詳しくは5月に配布した平成26年度保健衛生事業のご案内(8ページ)参照。また、B型およびC型肝炎の治療には一部助成制度がありますので、お問い合わせください

楽しむ・学ぶ

支援

相談

募集

情報あれこれ



男女共同参画週間 絵手紙・写真コンテストの入賞者が決まりました

男女共同参画週間 絵手紙・写真コンテストの作品募集に37点の応募があり、以下の方が入賞しました(敬称略)。作品は男女共同参画センター(神野ふ頭町ライフポートとよはし内)で展示します。

[絵手紙部門] **最優秀賞:** 佐藤法子(曙町) **優秀賞:** 正木米代(牛川町)、大濱星南(下地町)、味岡友子(東田町) [写真部門] **最優秀賞:** 羽田野由香理(羽根井西町) **優秀賞:** 花井隆良(向山町)、稲垣哲哉(三本木町)、羽田野太郎(羽根井西町)

問い合わせ: 市民協働推進課(☎51・2188)



写真部門最優秀賞「朝は、お父さんと一緒!!」



7月11日(金)~20日(日)は夏の交通安全市民運動

この時期は、行楽のために自動車を運転する機会が増えるほか、暑さやレジャーの疲れから運転者の注意力が散漫になりがちです。また、夏休みを控えて屋外で遊ぶ子どもたちや、夕涼みなどで外出する高齢者も増えるため、交通事故の危険が高まります。さらに、夏特有の開放感や各種の祭礼などで飲酒の機会も増え、飲酒運転による交通事故の発生も心配されます。市民一人ひとりが安全運転や安全行動の実践を通じて、交通事故の防止に努めましょう。

■運動の重点項目

- 子どもと高齢者を交通事故から守ろう
- すべての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう
- 飲酒運転を根絶しよう

問い合わせ: 安全生活課(☎51・2550)



大規模小売店舗の出店計画を閲覧できます

大規模小売店舗名称: クリエイトエス・ディー豊橋小松町店 **出店地:** 小松町233-3ほか4筆 **届出日:** 平成26年4月9日 **設置者:** (株)クリエイトエス・ディー(横浜市青葉区荏田西二丁目3-2) **新設日:** 平成26年12月10日 **計画の概要:** 店舗面積の合計(1,162㎡)、駐車場の収容台数(40台)、駐輪場の収容台数(34台)、荷さばき施設の面積(36㎡)、廃棄物などの保管施設の容量(6.56㎡)、営業時間(午前9時~午後9時45分) **閲覧期間/場所:** 9月9日(火)まで(土・日曜日、祝・休日を除く)の午前8時30分~午後5時15分/市役所商工業振興課(東館10階) **その他:** 閲覧期間中に愛知県知事あてに意見書を提出できます **問い合わせ:** 商工業振興課(☎51・2425)



熱中症に気をつけましょう!!

問い合わせ 健康政策課(☎39・9111)

熱中症とは、高温環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温の調整がうまくできなかつたりすることにより引き起こされる、さまざまな体の不調のことです。発生は7~8月がピークです。

子どもや高齢者、持病のある方、体調の悪いときには特に注意が必要です。また、室内にいるときも熱中症になる場合があります。熱中症を正しく理解し、予防に努めましょう。

熱中症のサイン

軽 めまい、立ちくらみ、汗が止まらない

中 頭痛、吐き気、体がだるい

重 意識がない、けいれん、呼びかけに対し返事がおかしい、体が熱い、まっすぐ歩けない



■熱中症の予防法

①水分・塩分の補給
のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分をとるようにしましょう

②熱中症になりにくい室内環境
扇風機やエアコン、すだれや打ち水などを利用し、室内の温度調節をしましょう

③体調に合わせて取り組み
涼しい服装、保冷剤で身体を冷やすなどしましょう

④外出時の準備
日傘や帽子の着用、日陰の利用、こまめな休憩をとるようにしましょう

■熱中症になったときの処置

①涼しい場所へ避難させる

②衣服をゆるめ、身体を冷やす

③水分・塩分を補給する

※自力で水が飲めない、意識がない場合は、直ちに救急車を呼びましょう

「暑さ指数」を活用して熱中症の予防に努めましょう

「暑さ指数」とは、屋外で活動をする際に熱中症予防の目安となるものです。詳細は環境省ホームページ(<http://www.wbgtenv.go.jp/>)参照。